

# 青 あおせ 9月

日中はまだまだ暑い日が続いていますが、朝夕はめっきりと涼しくなり、秋の気配を感じます。運動会練習が本格的に始まりましたが、週末ごとにやってくる台風には十分気を配り、安全第一に行動したいものです。

来週から10月。これから学習・読書・スポーツに最適の時期を迎えます。落ち着いた学校生活を送れるよう今後ともご協力よろしくお願いします。



## 見えないけれどもあるもの

星とタンポポ  
金子みすゞ

青いお空のそこ深く  
海の小石のそのように  
夜がくるまで沈んでる  
星のお星は目に見えぬ

見えぬけれどもあるんだよ  
見えぬものでもあるんだよ

散ってすがれたタンポポの  
川原のすきにだあまって  
春のくるまで隠れてる  
強いその根は目に見えぬ

見えぬけれどもあるんだよ  
見えぬものでもあるんだよ

昨日まで自分から話しかけていたのに、今日はよそよそしい態度をとる子ども。涙をポロポロ流しながらじっと黙っている子ども。このような子どもの言動の裏には、見えないけれどもそれなりの理由があるはずです。

一輪車にまったく乗れなかった1年生が、何とかひとりでペダルをこいで前に進めるようになってきました。「一輪車を自由自在に乗りこなす可能性」を信じながら、夏休みのラジオ体操の後に本校職員と練習を重ねてきたのです。

今はまだ見えないけれども様々な可能性の芽を子どもたち

ちはいっぱい持っているはず。私たち大人の役割は、それを引き出してやり、さらに伸ばしてやることだと思います。

金子みすゞの作品には、上に紹介したような、「普段とは違う視点」から物事を見つめたものが多数あります。子どもを「見る視点」をいつも同じ視点からではなく別な視点から見ると、見えなかったものが見えてくるようになるのではないのでしょうか。

## 花と読書と笑顔の学校

### 9月の目標

- (生活) 整理整頓をしっかりとし、ものを大切にしよう!
- (保健) 元気に運動して、じょうぶなからだをつくろう!
- (給食) 三度の食事をしっかりとろう!



1年 橋口尚哉さん 5年 有村 慈さん 6年 西 法枝さん

## 始業式での児童の発表!

1日(木)、2学期の始業式が行われました。今回は、上の写真の3名が児童代表として夏休みを反省して2学期への心構えを発表することができました。本校ではこのような発表の場で、原稿を読み上げるのではなく、伝えたいポイントをしっかりと押さえてできるだけ原稿を見ずに発表しています。今回の3名も、伝えたいポイントを押さえて原稿に頼らない発表ができました。このような「言語活動」を、本校では国語に限らず全教科の学習で展開しています。このような活動を積み重ねることによって、一層のコミュニケーション能力が身に付けられると考えます。

## 不審者対策訓練!

8日(木)3校時に長浜・鹿島駐在所のお巡りさんをお呼びして、不審者対策訓練を行いました。この訓練は文字通り、拳動不審者の暴挙から自らの命を守るための訓練ですが、訓練をしていてもいざという時に思ったような行動がとれないのでは困ります。結局、災害であろうと不審者であろうと、日頃からその気になって考え、取り組まないと役に立たないことをお巡りさんから教わりました。「自分の命は自分で守る」です!



## 子ども大綱引き応援旗 デザインコンテストで「教育長賞」

本校で力を合わせて制作した「子ども大綱引き応援旗」が見事「教育長賞」に輝きました。残念ながら実物がまだ返却されていませんので、写真でご紹介することができませんが、次号では写真入りで掲載します。

## これからの主な行事予定

- 23日(金) 秋分の日 長浜小・かのご幼運動会
- 25日(日) 愛校作業 西山小運動会
- 26日(月) 全校集会
- 30日(金) 運動会準備(13:00~)
- < 10月 >
- 1日(土) 合同秋季大運動会
- 3日(月) 振替休日 家庭学習強調週間(~9日)
- 4日(火) 命を大切に作る心をはぐくむ日  
身体計測 視力検査
- 7日(金) 中期交流学习(5・6年) 教育・健康相談
- 9日(日) 市民運動会
- 10日(月) 体育の日
- 11日(火)~13日(木) 川内小との交流学习
- 14日(金) 休養措置日
- 17日(月) 全校集会 空き缶回収
- 18日(火) 食育の日 空き缶詰め
- 20日(木) 甌島区域小学校陸上記録会(5・6年)
- 21日(金) 代表委員会
- 24日(月) 児童集会(1年)
- 25日(火) クラブ活動◎
- 27日(木) 敬老園訪問
- 28日(金) 海星中文化祭参加(5・6年)
- 31日(月) 全校集会

## ウミガメの放流!

8月19日(金)の夕方、ウミガメの放流を行いました。6月17日(金)に青瀬海岸に産み落とされたウミガメの一番卵150個を本校の孵化場に埋設して以来、約2か月で卵が孵化した訳です。幸いにも、今年の孵化率は昨年を上回って66%でした。この孵化したウミガメが大海原を泳ぎ回り、大きくなってまた青瀬の浜へ卵を産みに戻って来てほしいという思いを込めて、子どもたちの「頑張れ!」という歓声の下に1匹1匹優しく海へ送り出しました。ウミガメは、まるでそれに応えるかのように、小さな体で精一杯足を動かして海へ向かっていきました。しかし、この日放流した100匹の中で、いったい何匹この青瀬の浜にもどってくるのでしょうか?自然とはとても厳しいものですね…。



当日は、本校児童のほかに帰省している他校の児童のほかに初めてウミガメの放流に立ち会った旅行者の方もおられ、「感動でした!」とおっしゃっていました。青瀬ではいつもの夏の風物詩ですが、貴重な貴重な「命の学習」なんですね!さて、来年は…。